下関港

1	港の概要	岸壁の規模	（第一突堤･第二突堤）3万2000トン （あるかぽーと）5万トン級 （長州出島）22万トン級
		通船/台船の有無	（通船）　あり　・　(なし)　/　（台船）　あり　・　(なし)
		総合案内窓口	下関市港湾局振興課クルーズ振興係
			(TEL)083-250-7880　　(MAIL)cruise@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
			(URL)　https://www.shimonoseki-port.com/
2	二次交通	中心市街地までの交通手段/時間	（第一突堤･第二突堤）下関駅まで徒歩10分 / 唐戸地区までタクシーで10分 （あるかぽーと）唐戸地区至近 （長州出島）下関駅までタクシで一15分 / 唐戸地区までタクシーで25分
		最寄り駅までの交通手段/時間	（第一突堤･第二突堤）下関駅まで徒歩10分 （あるかぽーと）路線バス「海響館前」徒歩1分→5分乗車→下関駅 （長州出島） 　タクシー　6分乗車→幡生駅 　路線バス「垢田小学校前」徒歩5分→30分乗車→下関駅
3	港における受入体制	駐車場	（第一突堤･第二突堤）　大型バス5台程度 / タクシー10台程度 （あるかぽーと）　大型バス5台程度 / タクシー10台程度 （長州出島）　大型バス160台程度 / タクシー30台程度　※過去最大実績124台
		CIQ(関税･出入国管理･検疫) 対応可否/連絡窓口	対応可能 / 上記総合案内窓口と同じ
		その他受入設備、サービス　等	･インフォメーションコーナー(観光案内所(英語･中国語対応可能))の設営 ･タクシー配車や呼び出し ･両替所を設営可能 ･Free Wi-Fiスポットを寄港時に設営(最大100台程度接続可) ･物販時のガイドの手配(通訳ボランティア数名) ･多言語観光ガイドブック配付(英語、韓国語、中国語(簡体／繁体))　等
4	地域の観光資源	主な観光資源	･赤間神宮　･唐戸市場　･カモンワーフ　･市立しものせき水族館 海響館 ･城下町長府　･火の山公園　･関門海峡　･巌流島　･角島 ･関門海峡花火大会　･しものせき海峡まつり　･馬関まつり ･関門トンネル人道　･温泉(川棚、一の俣、つくの など) ･元乃隅神社(長門市)　･秋吉台(美祢市)　･秋芳洞(美祢市)　･瑠璃光寺五重塔(山口市) ･門司港レトロ地区(北九州市)　･小倉城(北九州市) ･ふぐ　･くじら　･あんこう　･いか　･瓦そば ･四季の花々花木　･日本初のホタル舟 ･明治維新、源平合戦、武蔵小次郎の決闘などの多彩な歴史　など多数
		観光協会等の問い合わせ先	一般社団法人下関観光コンベンション協会
			(TEL)083-223-1144　　(MAIL)HPのメールフォームを利用
			(URL)　https://www.stca-kanko.or.jp/
5	歓送迎行事 （おもてなし）	入出港歓迎行事の内容	伝統芸能披露、園児のお見送り、公募参加者によるお見送り(新規顧客開拓に沿う世代が可能)、歓迎式典、市長挨拶、花束贈呈、入港記念盾贈呈、記念品贈呈、ふく鍋ふるまい、横断幕のお出迎えとお見送り、吹奏楽団演奏、ゆるキャラ、観光デスク、特産品販売、夜間出港時のルミカによるお見送り　等
		歓送迎行事に関する連絡窓口	上記総合案内窓口と同じ
			（TEL）　　（MAIL）
			（URL）
6	その他	過去の実績 セールスポイント　等	【セールスポイント】 ･「食」「文化」「歴史」「自然･景観」「体験」など多彩な観光行程が造成可能 ･唐戸地区には数多くの観光資源が集積(唐戸市場、カモンワーフ、市立しものせき水族館･海響館、赤間神宮、巌流島 等) ･唐戸地区の関門海峡対岸に、門司港レトロ地区(北九州市門司区)あり ･下関港をハブに山口県西部、九州北部(北九州市、福岡市等)の多彩･多様な観光行程を造成可能 ･下関市だけでなく近隣自治体(長門市･山陽小野田市･美祢市･宇部市)と連携したおもてなしを実施 ･2023年、長州出島にクルーズ専用バース(385m)を供用開始 ･2027年度内に長州出島に旅客受入施設を供用開始予定 ･CIQファーストポート･ラストスポートに対応可 ･台風等の避難を目的とする緊急入港が可能 　※直前まで応相談 【過去実績】 ･2014年、九州山口地方で初となる「クルーズオブザイヤー特別賞」を受賞 ･2016年7月17日･18日に客船にっぽん丸寄港時に合わせて、「しものせき海の日フェスタ」「しものせき維新まつり」を同時開催。乗船客と市民による盆踊り大会など、相互参加による賑わい創出＆おもてなしを実施 ･2019年5月、官民で組織する下関市インバウンド対策協議会を設立。3部会(観光部会、交通部会、商業部会)を設けて受入を実施 ･2024年10月～2026年7月　全国クルーズ活性化会議会長港 ･2026年4月、下関港の魅力向上を目指すことを目的として「クルーズ客船おもてなし推進協議会」を設立 ･適宜、市民向け船内見学会、市民クルーズを実施